

オリエンタル酵母工業株式会社

動物検査総合案内書



- | | |
|---------------|--|
| ① ご案内 | サービスの流れ・注意事項 …… p.2-3
検体採取・取扱い …… p.4 |
| ② 検査項目 | 生化学検査（セット項目） …… p.5
生化学検査（単項目） …… p.6-7
特殊検査 …… p.8-9
血液学的検査 …… p.9 |
| ③ 索引・検査依頼書 …… | p.10-11 |

Animal Inspection Guidebook

富士フイルム 和光純薬株式会社

オリエンタル酵母工業（株）の実験動物の血液生化学検査は少ない検体量での実施が可能です。納期も検体受領後3営業日以内で、電子ファイルでのご報告にも対応しております。検査を通じてお客様のご研究をサポート致します。

サービスの流れ

1. 検体のご準備

- ・検体採取・取扱い方法をご参照ください。(p.4)
- ・検体量は再検査分を考慮して設定しております。量不足の場合は希釈測定も可能です。
- ・希釈測定に関しましては、検出限界以下になる可能性もありますので予めご了承ください。
- ・特殊検査項目の検体や、保管条件・送付先が異なる検体は測定項目毎に必要な量を容器に分取してください。
- ・検体は指定の保存条件で保管してください。検査結果が保存状態の影響を受けるものもあります。
- ・血液学的検査の検体は、検体発送日に採血してください。

2. ご依頼

- ・検査依頼書をご記入の上、検体発送前に必ずFAXで送信ください。(依頼書は案内書 p.11、もしくは弊社WEBサイトにも掲載しております)

依頼書送信先 FAX : 0749-64-2452
(オリエンタル酵母工業(株) 長浜LSL)

- ・送信期限
 - 長浜LSLへ発送する場合
……………**検体発送日の17時まで**に送信
 - 提携先機関へ発送する場合
……………**検体発送日の前日15時まで**に送信
(月曜着予定の場合は前週金曜日まで)
- ・検体送付に関する注意事項 (p.3) をご確認ください。
- ・記入漏れのないようお願いいたします。検体情報等は備考欄もしくは検体送付時に別紙添付ください。
- ・受領した依頼書は検体数等確認後ご依頼者様へ返信いたします。(検体到着日とは限りません。)

3. 発送

検体送付に関する注意事項 (p.3) をご確認ください。
検査依頼書とともに指定の保存方法で**発払い**にてお送りください。

- ◆ **凍結** : 必ず凍結保存しご提出下さい
- ◆ **冷蔵** : 必ず冷蔵 (4℃前後) で保存しご提出下さい
- ・検体が試験機関到着前に腐敗・変質し検査不可能となった場合は、その責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- ・土日祝は検体の受取を行っておりません。

《送付先》ご依頼項目によって検体の送付先が異なります。お間違えないようご注意ください。(誤発送によって検体の転送費用の負担、試験の遅延等が発生いたします)

- 生化学項目、特殊項目 (蛋白分画を除く)
⇒ **オリエンタル酵母工業(株)長浜LSL**
- 血液学的検査項目、蛋白分画
⇒ **提携先機関**

※血液学的検査のご依頼について

血液学的検査では午前中到着指定で検体をお送りいただきます。発送元の所在地によっては検査をお受けできない場合がございます。

4. 受理・試験

【試験実施機関】

オリエンタル酵母工業株式会社
長浜ライフサイエンスラボラトリー (長浜LSL)

(一部、項目によっては提携先試験機関での測定となります。)

- ・ご依頼内容、到着検体の状態等を確認し試験を実施します。
- ・試験実施上必要な事項をご依頼者様に確認するために依頼書のご連絡先へご連絡させていただくことがあります。
- ・依頼書に試験後の検体の返却の要・不要をご記入ください。返却にかかる送料はお客様のご負担となりますのでご了承ください。

■ 再検査について：長浜LSLの再検査基準にもとづき再検査をいたします。必要検体量に満たない検体量でご依頼の時には再検査が出来ない場合がございます。

■ 保管について：お預かりいたしました検体は報告日より約2～4週間保管させていただきます。保管日数は項目によって異なり、保管期間が過ぎた検体につきましては保管先にて廃棄させていただきます。

5. 結果のご報告

- ・検査結果は所定の報告書にて、速報をe-mailで、原本を郵送で長浜LSLよりご報告いたします。
- ・至急報告を希望される場合は、検査依頼時に予めご指示ください。
- ・依頼書に記載された宛先にお送りいたしますので、もれなく詳細にご記入ください。
- 所要日数について：原則的には検体がオリエンタル酵母 (長浜) に到着した日を起算日とし、結果 (速報) をお客様にご報告するまでの日数 (土日祝除く) となります。再検査の場合はさらに若干の日数を要することがございます。

6. ご請求

- ・代理店を通じてご請求させていただきます。
- ・検体返却をご希望された場合は返送料金と検査料金を合わせてのご請求となります。

7. その他

- ・検査繁忙期や年末年始、ゴールデンウィーク等の事情によって所要日数が延びる場合がございます。
- ・検査料金等のカタログ記載内容は予告なく変更される場合がございます。
- ・感染検体やウイルスを使用した検体についてのご依頼は不可となります。
- ・記載のない動物種、検体、項目等につきましてはお問い合わせください。



検体送付に関する注意事項

依頼書は複数枚に分けていただいても構いませんのでご依頼内容が判る様にご記入ください。

検査依頼書とともに、指定の保存方法にて**発払い**でお送りください。

●送料はお客様負担となりますので、予めご了承ください。

●検体が長浜LSL到着前に腐敗・変質し検査不可能となった場合は、その責任を一切負いかねますのでご了承ください。

●依頼書の FAX はすべて長浜LSLへ送信ください。(FAX送信先:0749-64-2452)

●ご依頼項目によって送付先が異なりますのでご注意ください。誤って送付されますと検体の転送による費用の負担、検体劣化、結果ご報告の遅延等が発生する恐れがあります。

受取可否、依頼書FAXの受付期限については下記の表をご参照ください。検査繁忙期や年末年始、ゴールデンウィーク等の受付についてはお問い合わせください。

◆【生化学検査】(生化学項目、特殊項目)

送付先:オリエンタル酵母工業株式会社 長浜ライフサイエンスラボラトリー

宅急便(冷蔵便)で凍結状態を保って送付下さい。念のためドライアイスのご使用をお奨めします。

その際、ドライアイスと検体容器が直接接触すると破損する可能性がございますので、新聞紙等により保護して梱包下さい。

※浸透圧項目は冷蔵にてお願いいたします。(ドライアイスの使用は測定値に影響が出ることがあります)

検体送付先

オリエンタル酵母工業株式会社 長浜LSL

〒526-0804 滋賀県長浜市加納町50 TEL:0749-64-2347

長浜LSL着日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
受取の可否	受取可					注1)	受取不可
依頼書FAX 注2)	検体発送日 (17時迄)					-	

注1) 原則、土曜日・祝祭日の検体受取は行っておりません。

* 連絡先: オリエンタル酵母工業(株) 長浜LSL TEL: 0749-64-2347

注2) 依頼書 FAX は検体発送日当日の 17 時までにお問い合わせください。

◆【血液学的検査および蛋白分画項目】

(4項目: 血液一般検査、血液像、網状赤血球数、蛋白分画)

送付先: 提携先機関

★血液一般検査、血液像、網状赤血球数(P.9)

検体の凍結にご注意頂き、宅急便(冷蔵便)でご送付ください。

検体採取当日に発送し、**翌日午前着指定**でお送り下さい。遠方の場合、発送元のご所在地によっては検査をお受けできない場合がございます。

★蛋白分画

冷蔵もしくは冷蔵便でご送付ください。

検体送付先

送付先はご依頼時に弊社もしくは販売代理店にお問い合わせください。

提携先機関着日	月曜日注3)	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
受取可否	受取可 (午前中指定)					受取不可 注4)	
依頼書FAX 注5) (長浜LSLへ)	前週金曜日 (15時迄)	検体発送日の前日 (15時迄)				-	

注3) 月曜日着の場合は、日曜日の検体採取及び発送をしてください。

注4) 血液学的検査では検体は土日、祝祭日および祝祭日前日の受取は出来ませんのでご了承ください。

注5) 血液学的検査は長浜LSLからの委託となります。検査の手配、依頼書のFAXは検体発送前日の15時までに長浜LSLへ送信ください。

◆ 検体採取

● 血清

- 必要量の3倍量を目安に血液を採血してください。
- 特に指定が無い場合、採血後5～6回程静かに転倒混和させ室温に静置させ（30～60min）、凝固を確認後 1200～1700Gで10～15分間遠心分離（15℃～室温）してください。
- 遠心分離後、上清を容器に移し指定の保存条件にてご提出ください。
- 採取方法および保存条件は検査項目によって異なりますので、各検査項目の備考および保存条件をご参照ください。

● 血漿

- 必要量の3倍量を目安に血液を採血してください。
- 特に指定が無い場合、所定の抗凝固剤入り採血容器にて採血後速やかに転倒混和させ、1200～1700Gで10～15分間遠心分離（室温）してください。
- 遠心分離後、上清を容器に移し指定の保存条件にてご提出ください。
- 保存条件は検査項目により異なりますので、各検査項目の保存条件をご参照ください。

◆ 注意事項

● 真空採血にあたり

- 容器の規定採血量より少ない場合、容器内部が陰圧状態のままとなり溶血を引き起こす原因となります。必ず指定容量を採取してください。

● シリンジ採血にあたり

- シリンジから注射針を外し、採血管の側面に沿わせてゆっくりと注入してください。

● 溶血を避けるにあたり

- 皮膚の消毒後は十分に乾燥するまで待ち穿刺を行ってください。
- 採血時に無理な圧力や泡立ちを避けてください（ゆっくり吸引する）。
- 十分に乾燥した採血容器を用いてください。
- 物理的刺激（極度の高温や低温、振動など）を避けてください。
- シリンジ採血により、採血管に移す際は針を外し注射筒の先を容器の壁につけゆっくり流し込んでください。
- 注射器に残った泡は押し出さないようにしてください。

◆ 必要検体量

生化学項目の単項目を複数ご依頼される場合は、項目数によって下記表の量をご参考ください。

生化学検査：基本項目の必要検体量

	項目数	検体必要量 (mL)
ご依頼項目合計	1～3項目	0.08
	4～5項目	0.10
	6～7項目	0.13
	8～10項目	0.15
	11～19項目	0.20
	20～22項目	0.25
	23～30項目	0.30
セット項目	スクリーニングセット (19項目)	0.20
	肝・胆疾患セット (21項目)	0.25
	腎疾患セット (13項目)	0.18
	心・脳疾患セット (11項目)	0.15
	膵疾患セット (11項目)	0.15

- ◆ 検査項目にFe、K、UIBC など、測定に要する検体量が多い「電解質・微量元素類」が含まれる場合は3項目以下であっても0.09mL以上必要となる場合がございます。
- ◆ 検体量が左記必要検体量回収できない場合などは希釈測定も可能ですが、検査項目により希釈測定をすると測定範囲以下となる場合もございますので予めご了承ください。
- ◆ 特殊検査項目の検体は左記とは別に項目毎に分取してください。
- ◆ 検体は**冷凍**にて保管・送付願います。（「**冷蔵**」の記述がある項目を除く。）

生化学検査 (セット項目)

	検査項目		測定料金 (1検体あたり)	スクリーニング セット (19項目)	肝・胆 疾患 セット (21項目)	腎 疾患 セット (13項目)	心・脳 疾患 セット (11項目)	膵 疾患 セット (11項目)
蛋白・低分子窒素化合物	総蛋白	TP	200円	○	○	○		
	アルブミン	ALB	200円	○	○	○		
	A/G比	A/G比	200円		○			
	尿素窒素	BUN	200円	○		○		○
	クレアチニン	CRE	200円	○		○		
	尿酸	UA	200円			○		
微量電解質・金属	ナトリウム	Na	200円	○		○	○	
	カリウム	K	200円	○		○	○	
	クロール	Cl	200円	○		○	○	
	カルシウム	Ca	200円	○		○	○	
	無機リン	IP	280円	○		○		
	鉄	Fe	260円		○			
酵素	AST (GOT)	AST	300円	○	○		○	
	ALT (GPT)	ALT	300円	○	○			○
	アルカリフォスファターゼ	ALP	260円		○			○
	乳酸脱水素酵素	LDH	260円	○	○		○	○
	ロイシンアミノペプチダーゼ	LAP	260円		○			
	アミラーゼ	AMY	260円	○				○
	クレアチンキナーゼ	CK	260円				○	
	γ-グルタミルトランスフェラーゼ	γ-GT	260円	○	○			
	コリンエステラーゼ	ChE	260円		○			
	リパーゼ	Lip	440円					○
脂質関連物質	総コレステロール	T-CHO	300円	○	○	○	○	○
	遊離コレステロール	F-CHO	200円		○			
	エステル型コレステロール	E-CHO	200円		○			
	コレステロールエステル比	E/T比	200円		○		○	
	中性脂肪	TG	260円	○	○		○	○
	遊離脂肪酸	NEFA	400円				○	
	LDL-コレステロール	LDL-C	600円		○			
	HDL-コレステロール	HDL-C	600円	○	○			
総胆汁酸	TBA	660円		○				
糖質・有機酸	グルコース	GLU	200円	○		○		○
	グリコアルブミン	GA	1,000円			○		○
生体色素	総ビリルビン	T-BIL	260円	○	○			○
	ビリルビン分画	BIL-F	260円		○			
必要検体量 (mL)				0.2mL	0.25mL	0.18mL	0.15mL	0.15mL
セット料金 (1検体あたり)				4,400円	5,700円	3,240円	2,700円	3,400円

- これらの検査はヒト用試薬を使用した測定となります。
- 基準値につきましてはお問い合わせください。
- セット項目の推奨検体は血清です。
- 各セットでは○印のついた項目を検査します。

・単項目測定をご依頼の場合は、P.6～P.7をご覧ください。

- 所要日数：検体受領後3営業日以内に結果をご報告いたします。(繁忙期はこの限りではございません。)
- 表示料金は1検体あたりの税抜価格です。

検査項目		推奨検体	検体量 (mL)	検査方法	測定値 単位	備考	セット 項目	測定料金 (1検体あたり)	
蛋白・低分子窒素化合物	総蛋白	TP	血清・血漿	0.08	Biuret法	g/dL	溶乳	ス、肝、腎	200円
		U-TP	尿・髄液	0.08	ピロガロールレッド法	mg/dL	血尿	-	260円
	アルブミン	ALB	血清・血漿	0.08	BCG法	g/dL	溶	ス、肝、腎	260円
		U-ALB	尿	0.08	免疫比濁法	μg/mL	ヒト用試薬	-	1,000円
		U-ALB	尿	0.08	免疫比濁法	μg/mL	マウス・ラット用試薬 所要日数：問	-	2,000円
	A/G比	A/G比	血清・血漿	0.08	BCG法/ Biuret法	-	TP、ALBを同時にご依頼ください 溶乳	肝	200円
	尿素窒素	BUN	血清	0.08	酵素法	mg/dL		ス、腎、膵	200円
		U-UN	尿	0.08	酵素法	mg/dL	乳	-	260円
クレアチニン	CRE	血清・血漿	0.08	酵素法	mg/dL		ス、腎	200円	
	U-CRE	尿	0.08	酵素法	mg/dL	乳	-	260円	
尿酸	UA	血清・血漿	0.08	酵素法	mg/dL		腎	200円	
	U-UA	尿	0.08	酵素法	mg/dL	溶	-	260円	
アンモニア *注1	NH3	血漿 除蛋白液	0.08	酵素サイクリング法	μg/dL	所要日数：問 溶	-	350円	
電解質・微量元素	ナトリウム	Na	血清	0.08	イオン選択電極法	mEq/L	EDTA2Na、ヘパリンNa等は測定値に影響を与えます。 溶	ス、腎、心	200円
		U-Na	尿	0.08	イオン選択電極法	mEq/L	溶	-	260円
	カリウム	K	血清	0.08	イオン選択電極法	mEq/L	EDTA2Kは測定値に影響を与えません。 溶	ス、腎、心	200円
		U-K	尿	0.08	イオン選択電極法	mEq/L	溶	-	260円
	クロール	Cl	血清	0.08	イオン選択電極法	mEq/L		ス、腎、心	200円
		U-Cl	尿	0.08	イオン選択電極法	mEq/L	乳	-	260円
	カルシウム	Ca	血清・血漿	0.08	酵素法	mg/dL	EDTA、クエン酸、フッ化ナトリウム等は測定値に影響を与えます。 溶	ス、腎、心	200円
		U-Ca	尿	0.08	酵素法	mg/dL	溶	-	260円
	無機リン	IP	血清・血漿	0.08	酵素法	mg/dL		ス、腎	280円
		U-IP	尿	0.08	酵素法	mg/dL	溶	-	300円
	マグネシウム	Mg	血清	0.08	酵素法	mg/dL	EDTAは測定値に影響を与えます 所要日数：問	-	200円
		U-Mg	尿	0.08	酵素法	mg/dL	所要日数：問	-	260円
浸透圧 *注2	(血液) (尿)	血清 尿	0.3	氷点降下法	mOsm /kg・H ₂ O	保管条件：冷蔵 所要日数：問	-	400円	
鉄	Fe	血清・血漿	0.08	Nitroso-PSAP 直接法	μg/dL	EDTA血漿は測定値に影響を与えます。 溶	肝	260円	
不飽和鉄結合能	UIBC	血清・血漿	0.08	Nitroso-PSAP 直接法	μg/dL	EDTA血漿は測定値に影響を与えます。 所要日数：問 溶	-	260円	
総鉄結合能	TIBC	血清・血漿	0.08	Nitroso-PSAP 直接法	μg/dL	EDTA血漿は測定値に影響を与えます。 Fe、UIBCを同時にご依頼ください。 所要日数：問 溶	-	260円	

*注1) アンモニア (NH₃) 濃度は試料中の諸酵素の作用等で増加します。採血後は直ちに氷冷し血漿分離あるいは除蛋白操作を行ってください。また、抗凝固剤はヘパリン、EDTA塩等が使用できますが不純物としてアンモニアを含まないことを確認してください。

*注2) 浸透圧 ドライアイスは測定値に影響を受けますので使用しないでください。

・基準値につきましてはお問い合わせください。

◆ U-ALB (マウス・ラット用) 以外はヒト用試薬を使用した試験です。

- ◆ マークについて
- 溶 溶血検体は検査値に影響を及ぼす場合がございます。
 - 乳 乳び検体は検査値に影響を及ぼす場合がございます。
 - ビ 高ビリルビン検体は検査値に影響を及ぼす場合がございます。
 - 血尿 血尿検体は検査値に影響を及ぼす場合がございます。

	検査項目		推奨検体	検体量 (mL)	検査方法	測定値 単位	備考	セット 項目	測定料金 (1検体あたり)
酵素	AST (GOT)	AST	血清・血漿	0.08	JSCC標準化 対応法	IU/L	溶	ス、肝、心	300円
	ALT (GPT)	ALT	血清・血漿	0.08	JSCC標準化 対応法	IU/L		ス、肝、膵	300円
	アルカリホスファターゼ	ALP	血清・血漿	0.08	JSCC標準化 対応法	IU/L	EDTA血漿は測定値に影響を与えます	溶 肝、膵	260円
	乳酸脱水素酵素	LDH	血清・血漿	0.08	JSCC標準化 対応法	IU/L	シュウ酸塩は測定値に影響を与えます	溶 ス、肝 心、膵	260円
	ロイシンアミノ ペプチダーゼ	LAP	血清	0.08	GSCC標準 化対応法	IU/L		肝	260円
	アミラーゼ	AMY	血清・血漿	0.08	JSCC標準化 対応法	IU/L	溶	ス、膵	260円
	クレアチンキナーゼ	CK	血清・血漿	0.08	JSCC標準化 対応法	IU/L	ヨード酢酸Naは測定値に影響を与えます	溶 心	260円
	γ-グルタミル トランスフェラーゼ	γ-GT	血清・血漿	0.08	JSCC標準化 対応法	IU/L		ス、肝	260円
	コリンエステラーゼ	ChE	血清	0.08	酵素法	IU/L		肝	260円
	リパーゼ	Lip	血清・血漿	0.08	酵素法	IU/L	ヘパリン血漿、EDTA、クエン酸塩、フッ化物のようなCa抑制型抗凝固剤の使用は避けてください。	膵	440円
	CKアイソザイム		血清	0.3	アガロース 電気泳動法	%	採血後速やかに血清分離してください。 所要日数：問	-	問
	ALPアイソザイム		血清	0.15	アガロース 電気泳動法	%	採血後速やかに血清分離してください。 所要日数：問	-	問
脂質関連物質	総コレステロール	T-CHO	血清・血漿	0.08	酵素法	mg/dL		ス、肝、腎 心、膵	300円
	遊離コレステロール	F-CHO	血清・血漿	0.08	酵素法	mg/dL		肝	200円
	エステル型 コレステロール	E-CHO	血清・血漿	0.08	酵素法	mg/dL	T-CHO、F-CHOを同時にご依頼ください	肝	200円
	コレステロール エステル比	E/T比	血清・血漿	0.08	酵素法	%	T-CHO、F-CHOを同時にご依頼ください	肝、心	200円
	中性脂肪	TG	血清・血漿	0.08	酵素法	mg/dL		ス、肝 心、膵	260円
	リン脂質	PL	血清・血漿	0.08	酵素法	mg/dL		-	300円
	遊離脂肪酸	NEFA	血清	0.08	酵素法	μEq/L		心	400円
	LDL-コレステロール	LDL-C	血清・血漿	0.08	直接法	mg/dL	ヘパリン血漿またはEDTA血漿推奨	肝	600円
	HDL-コレステロール	HDL-C	血清・血漿	0.08	直接法	mg/dL	ヘパリン血漿またはEDTA血漿推奨	ス、肝	600円
総胆汁酸	TBA	血清	0.08	酵素サイクリン グ法	μmol/L		肝	660円	
糖質・有機酸	グルコース	GLU U-GLU	血清・血漿 尿	0.08	酵素法	mg/dL	NaF血漿推奨	ス、腎、膵 -	200円 260円
	グリコアルブミン	GA	血清・血漿	0.1	酵素法/ BCG法	%	溶	腎、膵	1,000円
	1,5-アンヒドロ-D- グルシトール	1,5-AG	血清・血漿	0.08	酵素法	μg/mL	所要日数：問	-	問
	ヘモグロビンA1c	HbA1c	全血 (EDTA/ヘパリン)	0.03	酵素法		保管条件：冷凍/冷蔵 所要日数：問	-	2,500円
	ピルビン酸	PA	血漿 除蛋白液	0.08	酵素法	mg/dL	全血放置で測定値に影響を与えます。 所要日数：問	-	500円
	乳酸	LA	血漿 除蛋白液	0.08	酵素法	mg/dL	全血放置で測定値に影響を与えます。 所要日数：問	-	500円
	総ケトン体	T-KB	血清・血漿	0.08	酵素サイクリン グ法	μmol/L	所要日数：問 溶	-	600円
	生体色素	総ビリルビン	T-BIL	血清・血漿	0.08	酵素法	mg/dL	光によって異性化されます。	ス、肝、膵
ビリルビン分画	BIL-F	血清・血漿	0.08	酵素法	mg/dL	光によって異性化されます。 T-BILを同時にご依頼ください。	肝	260円	

■検体量：量不足の場合は希釈測定も可能ですが、測定下限を下回る場合もございます。

■所要日数：検体受領後3営業日以内に結果をご報告いたします。(一部除く)

■測定料金：表示は税抜価格です。

■検体は冷凍にて保管してください。



特殊検査

検査項目		推奨検体	検体量 (mL)	検査方法	測定値 単位	備考	
特殊検査	CRP	マウスラット	血清	0.05	ELISA法	ng/mL	
	シスタチンC (CysC)	マウスラット	血清	0.05	ELISA法	mg/L	
	ホモシステイン (Hcy)		血清・血漿	0.1	酵素法	μmol/L	EDTA血漿、またはヘパリン血漿 ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。
	免疫グロブリン (IgG)	マウスラット	血清	0.03	ELISA法	mg/dL	
	免疫グロブリン (IgM)		血清	0.03	ELISA法	mg/dL	
	免疫グロブリン (IgA)		血清	0.03	ELISA法	mg/dL	
	免疫グロブリン (IgE)		血清	0.05	ELISA法	ng/mL	
	TRACP-5b	マウスラット	血清	0.12	ELISA法	U/L	
	オステオカルシン	マウスラット	血清 ヘパリン血漿	0.05	ELISA法	ng/mL	
	オステオポンチン	マウスラット	血清・血漿 細胞培養上清	0.1	ELISA法	pg/mL	
	血中ケトン体分画 (アセト酢酸、3-ヒドロキシ酪酸、総ケトン体)		血清	0.5 (min0.3)	酵素法	μmol/L	ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。量不足時の希釈は不可です。 静脈血0.3mL、動脈血0.5mL
	トランスフェリン		血清	0.5	TIA	mg/dL	ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。
	レチノール結合タンパク (RBP)		血清	0.5	ラテックス凝集比濁法	mg/dL	ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。
	プレアルブミン		血清	0.5	免疫比濁法	mg/dL	ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。
	蛋白分画 *注3		血清	0.3	アガロースゲル電気泳動法	%	提携先機関へご送付ください。 ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。
	ヒアルロン酸		血清	0.4 (min0.3)	ラテックス凝集比濁法	ng/mL	ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。
IV型コラーゲン・7S		血清	0.5 (min0.4)	RIA2抗体法	ng/mL	ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。	
アミノ酸分析 (39種)		血漿	0.5	LC-MS	nmol/mL	ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。	
内分泌学的検査	プロラクチン (PRL)	マウス	血清・血漿	0.25	ELISA法	ng/mL	
	トリヨードサイロニン (T3)		血清	0.3	ECLIA法	ng/mL	ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。 量不足時の希釈不可
	総サイロキシシン (T4)		血清	0.3	ECLIA法	μg/dL	ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。 量不足時の希釈不可
	プロゲステロン		血清・血漿	0.2	LC-MS/MS法	pg/assay	血漿の場合はEDTA推奨
	テストステロン		血清・血漿	0.2	LC-MS/MS法	pg/assay	血漿の場合はEDTA推奨
	エストラジオール		血清・血漿	0.2	LC-MS/MS法	pg/assay	血漿の場合はEDTA推奨
	エストロン		血清・血漿	0.2	LC-MS/MS法	pg/assay	血漿の場合はEDTA推奨
	ジヒドロテストステロン		血清・血漿	0.2	LC-MS/MS法	pg/assay	血漿の場合はEDTA推奨
	アンドロステンジオン		血清・血漿	0.2	LC-MS/MS法	pg/assay	血漿の場合はEDTA推奨
	プレグネノロン		血清・血漿	0.2	LC-MS/MS法	pg/assay	血漿の場合はEDTA推奨
	17-ヒドロキシプロゲステロン		血清・血漿	0.2	LC-MS/MS法	pg/assay	血漿の場合はEDTA推奨
	コルチコステロン	マウスラット	血清・血漿・尿 細胞培養上清	0.03	ELISA法	ng/mL	細胞培養上清の場合は0.08mL
	インスリン (INS)	マウスラット	血清・血漿	0.05	ELISA法	ng/mL	
	PTH-intact (副甲状腺ホルモン- intact)	マウスラット	EDTA血漿 細胞培養上清	*	ELISA法	pg/mL	EDTA血漿推奨 * マウス：0.09mL ラット：0.11mL
	アルドステロン	マウスラット	血清 EDTA血漿	0.5 (min0.2)	RIA固相法	pg/mL	ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。
	レニン活性 (PRA)	マウスラット	EDTA血漿	0.3	RIA2抗体法	ng/mL/hr	ヒト用測定系を用いた測定です。測定値は参考値としてお考えください。 量不足時の希釈不可
レプチン (Lep)	マウスラット	血清・血漿	0.03	ELISA法	ng/mL		
アディポネクチン (ADN)	マウスラット	血清	0.03	ELISA法	ng/mL		

	検査項目		推奨検体	検体量 (mL)	検査方法	測定値 単位	備考
免疫関連検査	IL-1 β	マウス・ラット	血清・EDTA血漿 細胞培養上清	0.15	ELISA法	pg/mL	
	IL-6	マウス・ラット	血清・ 細胞培養上清	0.15	ELISA法	pg/mL	マウス：ヘパリン血漿 ラット：EDTA血漿
	CINC-1 (IL-8)	ラット	血清・ ヘパリン/EDTA血漿	0.12	ELISA法	pg/mL	
	TNF- α	マウス・ラット	血清・血漿	0.15	ELISA法	pg/mL	ヘパリン/EDTA加
	IGF- I	マウス・ラット	血清・血漿 細胞培養上清	0.05	ELISA法	pg/mL	ヘパリン/EDTA加
	VEGF	マウス・ラット イヌ	血清・血漿	0.08*	ELISA法	ng/mL	*検体量：ラット・イヌの場合 0.25mL

*注3) 蛋白分画の検体の保管条件は冷蔵、冷凍どちらでもお受けできます。検体は提携先機関へご送付ください。

※特殊検査に関する注意事項

- ・検体は冷凍にて保管してください。
- ・特殊検査では測定値がキットの測定範囲を超える場合には、「〇〇以上」もしくは「△△未満」と報告させていただきます。
- ・「以上」報告ではなく最終値までご希望の場合は、別途再検査のご依頼をお願いいたします。
- ・動物種により測定範囲は異なります。
- ・多くは海外メーカーの測定キットを使用しております。検査料金、所要日数はお問い合わせください。
- ・生化学検査と特殊検査を同一検体でご依頼いただく場合は、検体のチューブを分けていただくことをお勧め致します。

血液学的検査

	検査項目	推奨検体	検体量 (mL)	検査方法	備考
血液学的検査	血液一般検査 (RBC, WBC, Hb, Ht, MCV, MCH, MCHC, PLT)	全血 (EDTA加)	0.25	自動化法	保管条件：冷蔵 検体は提携先機関へご送付ください。
	血液像 (好中球, 好酸球, 好塩基球, 単球, リンパ球)	全血 (EDTA加)	0.25	鏡検法	保管条件：冷蔵 検体は提携先機関へご送付ください。
	網状赤血球数	全血 (EDTA加)	0.25	鏡検法	保管条件：冷蔵 検体は提携先機関へご送付ください。

※血液学的検査に関するご注意

- ・必ず冷蔵保存し、採血当日に冷蔵便でご送付ください。(土日祝、祝前日の受取不可)
- ・溶血にご留意ください。
- ・地域によっては輸送に時間がかかるため試験がお受けできない場合がございます。
- ・指定した種類以外の検体をご送付いただいた場合は、測定できない場合がございます。
- ・輸送中の破損、検体の漏れにご注意ください。
- ・血液学的検査をご依頼の場合には、検体の送付方法が異なります。詳しくは「検体送付に関する注意事項」(p.3)をご確認ください。
- ・所要日数：検体受領後3～6営業日以内に結果をご報告いたします。

受託サービスに関する注意事項

- お客様でご用意いただいたサンプルに起因する解析不可の場合は、弊社および受託メーカーは責任を負いかねますのでご了承ください。
- カタログの案内内容は、2018年7月現在のものです。仕様や条件、価格等は予告なく変更される場合がありますので、予めご了承ください。ご依頼前にお問い合わせいただく事をお勧めいたします。
- 掲載の所要日数(納期)は参考日数です。諸事情により前後する場合がございます。
- ヒトから採取したサンプルの場合、サンプル名を匿名化してお送りください。サンプルは必ずインフォームドコンセントを行っていることをご確認ください。また、お送りいただく前に必ず感染症検査を行い陰性をご確認ください。研究目的の検査のみお受け致します。

《検査方法の概要》

方法名	原理
酵素免疫測定法 (ELISA) Enzyme-Linked immunosorbent assay	固相化した抗体に対して抗原を反応させた後、酵素標識した抗体を抗原に二次反応させ発色基質を加えて酵素活性を測定する方法。
免疫比濁法 (TIA) Turbidimetric immunoassay	抗原抗体反応による混濁物に光を照射させ、透過率を測定する方法。
比色法 Colorimetry	測定物質を着色物質に変換後、可視部波長を照射して吸光度を測定する方法。
紫外部吸光度分析法 (UV) Ultraviolet absorption spectrophotometry	測定原理は比色法と同様で紫外部波長を用いて測定する方法。 通常は200~400 nmの近紫外部の波長が使われる。
酵素法 Enzymatic method	測定原理は比色法と同様で、測定物質を酵素を用いて特異的に測定する方法。
電極法 Ion electrode method	電極と溶液界面における電荷移行反応を利用した方法。 イオン選択電極は特定のイオンにตอบสนองし、イオンの活量の対数に比例して生じる電位差からイオンの濃度を測定する方法。
高速液体クロマトグラフィー法 (HPLC) High performance liquid chromatography	移動層に液体を用いる液体クロマトグラフィーで、高密度充填カラムと高圧ポンプを用いて高速、かつ高精度に分離する方法。
電気泳動法 Electrophoresis	荷電粒子の浮遊する電解質溶液に通電すると粒子は各粒子の荷電と逆方向に移動する現象を利用し、移動度から目的物質を測定する方法。 水溶液支持体にはセルロースアセテート膜、アガロースゲル、ポリアクリルアミドゲルなどが用いられる。
放射性免疫測定法 (RIA) Radioimmunoassay	抗体に対して放射性同位元素 (RI) で標識した抗原と検体中の抗原を競合的に抗原抗体反応を行い、抗体と結合した標識抗原 (結合型: Bound) と抗体と結合していない標識抗原 (遊離型: Free) を分離し、その割合を放射活性から抗原の濃度として測定する方法。 結合型と遊離型の分離方法 (B/F分離) として、抗体を固相化しておく固相法、抗原抗体複合体に第2抗体を結合させて沈殿させる2抗体法などがある。
電気化学発光免疫測定法 (ECLIA法) Electro-chemiluminescence immunoassay	原理的にはRIA法と同様であるが、標識物質としてルテニウム錯体を用い電気化学反応により発光させ測定する方法。
液体クロマトグラフィー質量分析法 (LC-MS/MS法) Liquid chromatography tandem mass spectrometry	液体クロマトグラフ (LC) により分離した成分をイオン化させ質量分析計で分離、特定の質量イオンを解離・フラグメント化し、それらのイオンを質量分析計で検出する方法。 特定の質量のみを選択し、微量成分定量分析を行う。

《項目索引》

項目名	頁	項目名	頁	項目名	頁	項目名	頁
アセト酢酸 (→血中ケトン体分画)	8	ジヒドロテストステロン	8	A 1,5-AG	7	K K (→カリウム)	6
アディポネクチン	8	浸透圧	6	(→1,5-アンヒドロ-D-グルシトール)	7	L LA (→乳酸)	7
アミノ酸分析	8	総ケトン体	7	A/G比	6	LAP (→ロシニンアミノペプチダーゼ)	7
アミラーゼ	7	総ケトン体 (→血中ケトン体分画)	8	ADN (→アディポネクチン)	8	LDH (→乳酸脱水素酵素)	7
アルカリホスファターゼ	7	総コレステロール	7	ALB (→アルブミン)	6	LDL-C (→LDL-コレステロール)	7
アルカリホスファターゼ	7	総サイロキシン	8	ALP (→アルカリホスファターゼ)	7	LDL-コレステロール	7
アイソザイム	7	総胆汁酸	7	ALPアイソザイム	7	Lep (→レプチン)	8
アルドステロン	8	総蛋白	6	ALT	7	Lip (→リパーゼ)	7
アルブミン	6	総鉄結合能	6	AMY (→アミラーゼ)	7	MCH (→血液一般検査)	9
アンドロステンジオン	8	総ビリルビン	7	AST	7	MCHC (→血液一般検査)	9
1,5-アンヒドロ-D- グルシトール	7	たん球 (→血液像)	9	B BIL-F (→ビリルビン分画)	7	MCV (→血液一般検査)	9
アンモニア	6	蛋白分画	8	BUN (→尿素窒素)	6	Mg (→マグネシウム)	6
インスリン	8	中性脂肪	7	C Ca (→カルシウム)	6	N Na (→ナトリウム)	6
インスリン様成長因子I (→IGF-I)	9	テストステロン	8	ChE (→コリンエステラーゼ)	7	NEFA (→遊離脂肪酸)	7
インターロイキン-1β (IL-1β)	9	鉄	6	CINC-1	9	NH3 (→アンモニア)	6
インターロイキン-6 (IL-6)	9	トランスフェリン	8	CK (→クレアチンキナーゼ)	7	PA (→ビルビン酸)	7
インターロイキン-8 (CINC-1, IL-8)	9	トリヨードサイロニン	8	CKアイソザイム	7	PL (→リン脂質)	7
エステル型コレステロール	7	ナトリウム	6	Cl (→クロール)	6	PLT (→血液一般検査)	9
エストラジオール	8	乳酸	7	CRE (→クレアチニン)	6	PRA (→レニン活性)	8
エストロン	8	乳酸脱水素酵素	7	CRP	8	PRL (→プロラクチン)	8
オステオカルシン	8	尿酸	6	CysC (→シスタチンC)	8	PTH-intact	8
オステオポンチン	8	尿酸窒素	6	E E-CHO	7	R RBC (→血液一般検査)	9
カリウム	6	ヒアルロン酸	8	(→エステル型コレステロール)	7	RBP (→レチノール結合タンパク)	8
カルシウム	6	17-ヒドロキシプロゲステロン	8	E/T比	7	T3 (→トリヨードサイロニン)	8
グリコアルブミン	7	3-ヒドロキシ酪酸 (→血中ケトン体分画)	8	F F-CHO (→遊離コレステロール)	7	T4 (→総サイロキシン)	8
グルコース	7	ビリルビン分画	7	Fe (→鉄)	6	TBA (→総胆汁酸)	7
γ-グルタミルトランス フェラーゼ	7	ビルビン酸	7	G GLU (→グルコース)	7	T-BIL (→総ビリルビン)	7
クレアチニン	6	副甲状腺ホルモンインタクト (→PTH-intact)	8	GOT (→AST)	7	T-CHO (→総コレステロール)	7
クレアチンキナーゼ	7	不飽和鉄結合能	6	GPT (→ALT)	7	TG (→中性脂肪)	7
クレアチンキナーゼ	7	プレアルブミン	8	γ-GT (→γ-グルタミルトランスフェラーゼ)	7	TIBC (→総鉄結合能)	6
アイソザイム	7	プレグネノン	8	H Hb (→血液一般検査)	9	T-KB (→総ケトン体)	7
クロール	6	プロゲステロン	8	HcA1c (→ヘモグロビンA1c)	7	TNF-α	9
血液一般検査	9	プロラクチン	8	Hcy (→ホモシステイン)	8	TP (→総蛋白)	6
血液像	9	ヘモグロビンA1c	7	HDL-C (→HDL-コレステロール)	7	TRACP-5b	8
血中ケトン体分画	8	ホモシステイン	8	HDL-コレステロール	7	UA (→尿酸)	6
好塩基球 (→血液像)	9	マグネシウム	6	I Ht (→血液一般検査)	9	U-ALB (→アルブミン)	6
好酸球 (→血液像)	9	無機リン	6	IgA (→免疫グロブリンA)	8	U-Ca (→カルシウム)	6
好中球 (→血液像)	9	免疫グロブリン	8	IgE (→免疫グロブリンE)	8	U-Cl (→クロール)	6
IV型コラーゲン・7S	8	網状赤血球数	9	IGF-I	9	U-CRE (→クレアチニン)	6
コリンエステラーゼ	7	遊離コレステロール	7	IgG (→免疫グロブリンG)	8	U-GLU (→グルコース)	7
コルチコステロン	8	遊離脂肪酸	7	IgM (→免疫グロブリンM)	8	UIBC (→不飽和鉄結合能)	6
コレステロールエステル比	7	リパーゼ	7	IL-1β	9	U-IP (→無機リン)	6
シスタチンC	8	リン脂質	7	IL-6	9	U-K (→カリウム)	6
C反応性蛋白 (→CRP)	8	リンパ球 (→血液像)	9	IL-8 (→CINC-1)	9	U-Mg (→マグネシウム)	6
		レチノール結合タンパク	8	INS (→インスリン)	8	U-Na (→ナトリウム)	6
		レニン活性	8	IP (→無機リン)	6	U-TP (→総タンパク)	6
		レプチン	8			U-UA (→尿酸)	6
		ロシニンアミノペプチダーゼ	7			U-UN (→尿素窒素)	6
						VEGF	9
						WBC (→血液一般検査)	9



《検査および価格についてのお問い合わせ》

富士フイルム和光純薬株式会社 バイオ受託ソリューション推進室

フリーダイヤル 0120-052-099
フリーファックス 0120-052-806
E-mail : jutaku@fujifilm.com

弊社Webサイト：カタログ（PDF版）、検査依頼書
https://labchem-wako.fujifilm.com/jp/custom_service/products/95021.html

▶お見積もりは弊社販売代理店にてご相談ください。



提供元



販売元

富士フイルム和光純薬株式会社

本社 〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 TEL 06-6203-3741 (代表)
東京本店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号 TEL 03-3270-8571 (代表)

●九州営業所 ●中国営業所
●東海営業所 ●横浜営業所
●筑波営業所 ●東北営業所
●北海道営業所

 フリーダイヤル 0120-052-099
フリーファックス 0120-052-806
試薬URL : <https://labchem-wako.fujifilm.com>